

参加者
募集

2025 未来に向けて

湯つくりとことん話そじゃないか

2025.10.27(月)-28(火)

会場 熱海 起雲閣



主催：NPO 法人 高齢社会をよくする女性の会(WABAS)

協力：「全国大会 in 熱海」準備会

後援：内閣府男女共同参画局、厚生労働省、

熱海市、熱海市医師会、熱海市社会福祉協議会

スケジュール

1日目/10月27日(月) 会場 熱海市指定有形文化財 起雲閣音楽サロン

- ▶ 12:00～ 受付
- ▶ 13:00～13:15 開会セレモニー 挨拶 WABAS 理事長、熱海市長、他 <司会 宮崎冴子>
- ▶ 13:15～14:45 基調講演 1

「男女共同参画・老若男女の生き抜く力」

講師 名取 はにわ氏 学校法人日本社会事業大学理事長。

1999年総理府大臣官房男女共同参画室長として、男女共同参画社会基本法制定に携わる。2005年内閣府男女共同参画局長。前 NPO 法人日本 BPW 連合会理事長。2018年瑞宝中綬章叙勲。



- ▶ 15:00～16:30 基調講演 2

「昭和歌謡に見る女のあしあと」

講師 林家 たけ平氏 落語家 落語協会・真打(2016年)。

古典落語／滑稽噺から人情噺、怪談噺まで幅広く演じます。

昭和歌謡研究家(著作として『よみがえる歌声—昭和歌謡黄金時代—』

ワイズ出版)。東海林太郎音楽館 副館長。熱海市民大学前講師。



- ▶ 16:30～18:30 — マイクロバスにて KKR ホテル熱海へ移動・チェックイン —



- ▶ 18:30～20:30 交流会 会場:KKRホテル熱海

<< 熱海笛伶會によるアトラクション >>

ごあいさつ

NPO 法人高齢社会をよくする女性の会(WABAS) 理事長 木村民子

今年度は熱海市で小規模ながら「楽しく学ぶ」という趣旨で開催する運びとなりました。折しも2025年は昭和100年、女性参政権獲得80年、介護保険創設25年という節目の年でもあり、「女性の視点を大事にしつつ、超高齢社会の課題解決を図る」というテーマを取り上げました。

1日目の基調講演では、根強い伝統的な性役割を見直し、昭和の時代を振り返りながら、男女共同参画社会への道筋を考えたいと思います。また2日目のシンポジウムでは介護保険の様々な問題が浮上している昨今、医療と介護の在宅ケアはどうあるべきか、熱海市の取り組みや、今後の展望などを話し合います。次の100年に向けて「湯っくりとことん話そじゃないか」。皆様のご参加をお待ちしています。

プロフィール：2024年樋口恵子氏に代わり当NPO法人の理事長となる。元区議会議員、現在内閣府男女共同参画局男女共同参画推進連携会議議員、文筆家。主な著書：『100歳までに読みたい100の絵本』、『少女小説をジェンダーから読み返す』など。



▶ 9:00~9:45 — マイクロバスにて KKR ホテル熱海から起雲閣へ移動—



▶ 9:15~ 受付

▶ 10:00~12:00 シンポジウム: 総合司会 渡辺敏恵

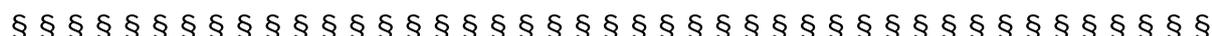
「医療と介護の連携で安心の在宅ケアを — 幸せな超長寿社会へ」

介護保険創設から 25 年の節目を迎え、介護保険は財源と負担のせめぎあいで、相次ぐ改定がなされてきました。特に持続可能な介護保険制度と介護サービス、高齢者医療制度の運営、人生の最終段階における医療・ケアの体制整備が重要な基本的施策として注目されます。国の介護と医療の委員会メンバーである渡辺敏恵、石田路子両副理事長を進行役として厚労省担当官から、国の施策を伺い、熱海市で活躍されている医師、社会福祉協議会、長寿介護課職員の方々に熱海市の現状、評価すべき取り組み、展望などを伺います。そこからあぶり出された課題、提言などをまとめ、厚労省をはじめ、全国に発信していきます。

<p><シンポジスト> 厚生労働省老健局ご登壇担当官: 交渉中</p>	<p><シンポジスト> 安達昌子: 医師。医療法人社団律昌会さくら醫院 理事長・院長 熱海市医師会理事他。「最期まで自分らしく安心して過ごしたい」患者さん・ご家族を支える医療継続のため、地域に根差した地域/在宅医療・多職種連携/協働に日々邁進しています。</p> 
<p><シンポジスト> 高杉 邦幸: 熱海市役所健康福祉部長寿介護課介護保険室 室長。室業務の統括。介護保険事業計画の策定、介護保険制度改正に伴う条例・規則の改正等、介護保険運営協議会に関することを担当しています。</p> 	<p><シンポジスト> 石橋真由美: 主任介護支援専門員、精神保健福祉士、社会福祉士、介護福祉士。熱海市社会福祉協議会でケアマネジャーとして現在勤務。</p> 
<p><総合司会> 渡辺敏恵: 医学博士 総合内科専門医。WABAS 副理事長。自分らしい「生き」「死に」を考える会代表。厚労省医療介護総合確保推進会議 構成員。『私の生き方連絡ノート』での人生会議を提唱している。</p> 	<p><コーディネーター> 石田路子: 名古屋学芸大学看護学部客員教授・名誉教授。専門は社会保障、社会福祉。WABAS 副理事長。名古屋市生まれ。奈良に 10 年暮らして関西弁を習得。調子が上がると関西弁に。</p> 

▶ 12:15~12:30 閉会セレモニー

解散



申込方法

参加費 2,000 円、宿泊費(含 交流会費)18,000 円

別紙申込用紙にご記入の上、メール添付、郵送、あるいは FAX にて準備会宛てお申込みください。
募集期間は 6 月 20 日から 8 月 31 日。募集人数は会場の都合で、先着 100 名に限定いたします。

郵送：〒413-0103 静岡県熱海市網代 591-39「全国大会 in 熱海 準備会」木村 栄

Mail： sakae.kimura@spa.nifty.com FAX： 0557-68-3075 Phone： 090-1050-5076

なお、今大会は熱海という絶景の地で開催いたしますが、海に連なる急峻な地形のため、「夜の不慣れな坂道の歩行は危険、荷物を持っての移動が負担」等安全面でも心配です。加えて公共の交通手段が乏しく、タクシーを呼んでもなかなか来ない、などのリスクを避けるために、会場間(起雲閣会場－KKR ホテル熱海)の移動は、マイクロバスを使用します。

また、交流会後の夜の移動を控えていただくために、交流会会場はホテルの宴会場とし、宿泊のホテルは KKR ホテル熱海に限定させていただき、全国大会参加者だけの貸切としました。

ただし、シングルの部屋は少なく、会員の皆様は相部屋での宿泊とさせていただきます。

お申込は原則、1 室ごとに 2 名様以上 4 名様以下でお申込みください。お一人でお申込みの場合はどなたかとの相部屋とさせていただきますので、ご承知おきください。ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

集合、移動、解散、オプションツアーについて

集合：基調講演会場の起雲閣に各自集合してください。熱海駅からのバスのご利用が便利です。

熱海駅発 起雲閣前 経由 バス時刻表(乗車時間;約9分) (大会開始時刻13:00、発車時刻12:33までのご乗車をお勧めします)			
発車時刻	のりば	行先	降車停留所
11:33	②	【熱21】起雲閣・笹良～熱海駅	起雲閣前
11:45	③	【A35/31】ひばりが丘・上の山・紅葉ヶ丘方面	天神町(徒歩2分)
11:48	②	【AT52/53/31】起雲閣～十国峠登り口～元箱根方面	起雲閣前
11:55	①	【熱13】起雲閣前～清水町循環～熱海駅	起雲閣前
12:00	①	【熱11】相の原団地、梅園、清水町循環	起雲閣前
12:03	②	【熱21】起雲閣・笹良～熱海駅	起雲閣前
12:18	②	【AT52/53/31】起雲閣～十国峠登り口～元箱根方面	起雲閣前
12:33	②	【熱21】起雲閣・笹良～熱海駅	起雲閣前



<https://www.atamisp.com/access/>より

移動：初日/基調講演後の起雲閣から KKR ホテル熱海までの移動、および 2 日目の KKR ホテル熱海から起雲閣までの移動は、マイクロバスをご用意します。

解散：2 日目起雲閣での閉会式の後、解散となります。熱海駅へはバスのご利用が便利です。

オプションツアー：熱海まち歩きガイドの会（観光ボランティアガイド）によるツアーを用意しています。希望される方は申込用紙にご記入ください。湯けむりコース/熱海温泉の歴史を象徴する七湯史跡巡りとなります。所要時間は 1 時間半程度です。ゆっくり歩きですが、途中離脱可とします。費用はガイド料@500 円/1 人（お弁当は別料金）。起雲閣にて昼食後、出発となります。

●湯けむりコース概要／ 熱海温泉の歴史を象徴する七湯史跡巡り・起雲閣→熱海七湯→湯前神社・大湯→熱海銀座→お宮の松で解散（各自 バスで⇒熱海駅）

※熱海駅行きのバス停はお宮の松の前にあります。



▲湯けむりコース